

目次

【原著】

Importance of Job Continuity in Performance of Patient Safety Officers .....113  
—Based on Comparative Survey by Extent of Experience Using “Job Attitude Scale for Patient Safety Officers”—

Analysis of the results of a self-administered job attitude scale showed that assignment continuity is an important factor in the ability of patient safety officers to perform their assignment effectively.

KAI, Yukiko<sup>1) 2)</sup> ABE, Hiroshi<sup>3)</sup> TABATA, Chihoko<sup>4)</sup> AKIYOSHI, Miyoko<sup>5)</sup>  
MISAWA, Ryo<sup>6)</sup> YAMAGUCHI, Hiroyuki<sup>7)</sup> Matsuo, Hisae<sup>3)</sup> Ishida, Yasushi<sup>3)</sup>

- 1) Medical Safety Management Division, University of Miyazaki Hospital
- 2) Division of Fundamental Nursing, Department of Nursing, Faculty of Medicine, University of Miyazaki
- 3) Department of Psychiatry, Faculty of Medicine, University of Miyazaki
- 4) Medical Safety Environmental Division, Kagoshima University Medical and Dental Hospital
- 5) Medical Safety Management Division, Kyushu University Hospital
- 6) Graduate School of Human-Environment Studies, Kyushu University
- 7) Department of Psychology, Faculty of Human-Environment Studies, Kyushu University

【報告】

カルテレレビューによる有害事象の把握と追加的コストの推計の試み..... 124

A 病院においてカルテレレビューを行った結果、対象患者 172 症例中 29 件の有害事象を認め、調査対象となった有害事象 1 件あたりの追加的コストは 166,407 円であった。

天生目 理香<sup>1)</sup> 池田 俊也<sup>2)</sup> 若佐谷 敦<sup>3)</sup> 清水 隆明<sup>2)</sup> 武藤 正樹<sup>2)</sup>

- 1) 国際医療福祉大学病院 医療安全管理室
- 2) 国際医療福祉大学大学院
- 3) 国際医療福祉大学病院 産婦人科

【報告】

国立大学附属病院における GRM 業務への医師・歯科医師参画の現状..... 133  
—医師 GRM アンケートの結果より—

国立大学附属病院における医師 GRM の配置数、業務内容、意識が明らかになった。医師 GRM が業務を続けるために、改善しなければならない点も多くあることが判明した。

国立大学附属病院医療安全管理協議会医師 GRM アンケートプロジェクトチーム

南須原 康行<sup>1)</sup> 石川 誠<sup>1)</sup> 兼児 敏浩<sup>2)</sup> 久田 友治<sup>3)</sup> 福井 康三<sup>4)</sup>  
藤盛 啓成<sup>5)</sup> 本間 覚<sup>6)</sup> 宮本 智行<sup>1), 7)</sup>

- 1) 北海道大学病院 医療安全管理部
- 2) 三重大学医学部附属病院 医療安全・感染管理部
- 3) 琉球大学医学部附属病院 安全管理対策室
- 4) 弘前大学医学部附属病院 医療安全推進室
- 5) 東北大学病院 医療安全推進室
- 6) 筑波大学附属病院 臨床医療管理部
- 7) 東京医科歯科大学歯学部附属病院 医療安全管理室

【報告】

急性期病院における患者の転倒リスクに対応した転倒予防対策の策定 ..... 142

急性期病院に入院した患者の転倒リスク要因と実施ケアを調査し、その関連と効果を確かめ、患者の転倒リスクに対応した転倒予防対策を策定した。

大木 裕子<sup>1)</sup> 飯島 佐知子<sup>2)</sup> 安西 由美子<sup>3)</sup> 森田 恵美子<sup>3)</sup> 長谷川 隆一<sup>3)</sup>

- 1) 元愛知県立看護大学大学院 看護学研究科修士課程
- 2) 順天堂大学大学院 医療看護学研究科
- 3) 公立陶生病院

【総説】

日本における「鎮静・鎮痛のための実践ガイドライン」はどうあるべきか？ ..... 154

アメリカ麻酔科学会の非麻酔科医のための鎮静・鎮痛ガイドラインの翻訳文掲載に際して、欧米における鎮静・鎮痛の現状について解説した。

中川 雅史<sup>1)</sup> 上農 喜朗<sup>2)</sup>

- 1) 社会保険紀南病院 麻酔科
- 2) 兵庫医科大学病院 中央手術部

【書評】

『医療の安全を願って 克彦の死を無駄にしないために』 ..... 158

〈評者〉 後 信

公益財団日本医療機能評価機構 執行理事

【学会・研究会案内】

医療の質改善アジア太平洋フォーラム ..... 159

【資料】

非麻酔科医による鎮静／鎮痛に関する診療ガイドライン ..... 162

非麻酔科医による鎮静／鎮痛に関する米国麻酔科学会作業部会による改訂情報

医療の質・安全学会 会則 182

医療の質・安全学会 役員および評議員 186

医療の質・安全学会 入会のご案内 188

「医療の質・安全学会誌」投稿規程 191

「医療の質・安全学会誌」執筆要項 195

「医療の質・安全学会誌」定期購読のご案内 200

編集後記 202